

大念佛

No.88

発行/融通念佛宗
総本山 大念佛寺

大阪市平野区平野上町1-7-26
TEL.06-6791-0026

題字：融通念佛宗 管長 吉村暉英



融通念佛宗総本山

大念佛寺

一人一切人
一切人一人
一行一切行
一切行一行
ひとりがみんなを思いやり
みんながひとつの
気持ちになって
手をたずさえて
乗り切りましょう
克服しましょう

祈り

融通念佛宗務総長 田中 瑞修

令和二年の年明けはおだやかな好天に恵まれこの一年の安穩、平和を予感させられるものでありました。しかしながら有為転変の世の中、今日の姿を誰が予測したでしょうか。新型コロナウイルスが発生し、またたく間に世界中に広まり現在何百万人とされる感染者が報告され、多数の尊い人命が失われております。個々の生活までもが脅かされ、いまだ終息のめどがたない状況であります。亡くなられた方々の冥福を祈り、闘病生活をおくられている人々の一日も早い快復とウィルスの早期終息を願うものであります。このような状況を受け総本山におきましても諸行事の縮小、延期、中止等の対策をとらせていただき檀信徒、参詣の方々に多大の迷惑をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。総本山大念佛寺におきましては亡くなられた方々のご冥福と感染終息の祈願を毎日つとめております。各宗団におきましてもそれぞれ宗の秘法を尽くし疫病退散の祈りが続けられております。くしくもお盆の時節を迎えております。お盆の行事はお釈迦様在世の時、十大弟子の一人、神通力第一といわれた目連尊者が亡き母の今の姿を見ることが出来たこと、母の姿を追い求めたところ、母親は地獄界の餓鬼道で苦しむ責めを受けている。この姿を目の当たりにした尊者は母を救う法をお釈迦様にたずねたところ、夏安居の修行を終えた僧侶に供養し三界万霊、縁のある人、ない人すべての冥福を祈る法をするなら、母親も地獄界で苦しむ者も共に救うことが出来るとの教えを受けたことにより始まるとされております。

日本ではお盆の仏事は奈良の大仏

をお建てになった聖武天皇が天平五年(七三二)の七月に宮中で行われた盂蘭盆会が始めとされ、それが民間に移され現在に至ったといわれています。お盆はご先祖の精霊をお迎えし、家族とご先祖が一体となり供養し祈る大切な行事であります。日本人は古来より祈りの民族であります。疫病、飢餓、天変地異、今日迄幾度となく不時災難に対して祈りは続けられてまいりました。人の力の及ばないもの、目に見えないものに対して常に畏怖と敬いの念をもつて祈られてきたのです。人によっては科学的に説明できないもの、結果の見えないものに祈ってどうなるのか、天地神仏に祈ることに疑念をお持ちの方もあられるでしょう。

アメリカ、ハーバード大学、コロンビア大学の研究で祈りの効果を肯定する発表がなされ、祈りが病気の治療に効果があると発表されている。この実験は心臓病患者三九二人による実験で他人に祈られた患者は祈られていない患者より、人工呼吸器、抗生物質、透析の使用率が少ないことがわかり、祈られた患者の快復はそうでない患者よりも早いと証明された。アメリカ西海岸より東海岸にいる患者、何千キロメートルと離れた患者に対して快復を祈る、反対に東海岸より西海岸側の患者に対して祈るといふ実験です。重要なのはこの祈りの対象者は自分が祈られていることすら知らないのです。何千キロメートルと離れた所よりの祈りが、距離を越えて通じると証明されたのです。教授は祈りの力は好ましい遺産をオゾンにし、好ましくない遺産子をオフにする効果があると述べられております。

満たすために祈るのではなく、他人の仕合わせを祈ることの大切さを説いております。自利利他の祈りであり、自分も他人も共に仕合わせであることを祈る。他人の為に祈ってあげているのではなく、他人の仕合わせを祈ることが自分の仕合わせにつながる。「念ずれば花開く」と、まずは信ずる心をもつこと。そして素朴に謙虚に祈る。感謝報恩の祈りは必ずよい果報をいただくことが出来るのです。

しばらく前のことですが、郵便物を投函するために出たところ、友人夫婦が娘さん一家を送り出しているのに遭遇しました。孫さんと笑顔で話され別れを惜しんでおられる姿にほほえましい光景だと思ひながら投函し戻ってきたら、まだ奥さんが家の角に立ち、北に向かって走り去る車を見つと見送っておられる。なにげなくその姿を見ると、両手を合わせ合掌されている。車が消え去るまで佇んでおられるのを目にした時、一瞬大きく胸を打たれました。子供一家の健康と無事を祈っておられたのでしょうか。ありがたい親の姿です。子供は知らずとも全ての親はこうして常に祈って下さっている。親の祈りのお守りをいただいて今日の自分があるのと知らされた一時でした。あたりまえのように過ぎてきた日々を反省し改めて大恩父母への感謝の念に目覚めさせられました。人に手を合わせば人も手を合わせて下さる。神仏に手を合わせば神も仏も手を合わせ祈って下さる。祈り合いの中に平和な社会、仕合わせな家庭が築かれる。これが相互礼拝、相互供養融通念佛の世界であります。

お盆を迎え、今日ある自分をふり返り、両親ご先祖をはじめ無数の方々のお陰に支えられ生かさせていただいている喜び、感謝の真心で精霊をお迎えいたしましょう。

在家伝法について (七)

融通念佛宗管長 吉村 暲 英

第五、礼拝式

我が道場は帝珠のごとし
十方の三宝、中に影現したまえ
わが身は影現したまえる三宝の前に
頭面を御足に接し、
帰命し礼したてまつる

礼拝とは仏、菩薩を拝むときの作法ですが、敬いと信順（信じてしたかがうこと）の心を身体によって表現するものです。その作法は合掌と礼拝に要約されます。合掌は両手を合わすことですが、礼拝は合掌して頭を垂れる動作です。これはおのが身を低くすることによって驕慢（おごり高ぶること）を押さえ、相手を上位に置くことを意味します。

さて、香を薫じ、厳かな飾りや供養を施したこの道場は、帝釈天宮の宝網の珠のようにきれいだ。あらゆる世界の仏さまがた、どうぞこの珠の中にお姿を現してくださいと、仏さまの降臨（この世界に天下ること）を願います。そしてわが身はお姿を現してくださいと、仏さまの御前において、わが頭と顔を仏さまの御前に接して、心から敬いと信順を捧げ礼拝いたしますと述べて伏し拝むのです。

ここで注目すべきことは、わが頭面を仏さまの御前に接して礼拝する頭面接足礼（接足作礼ともいう）のことです。これは両手を伸ばし、掌で相手の足を受け取り、それを自分の額におしただき拝むことです。相手（仏、菩薩）の足を自分の額におしただくのは、謙虚になりきって相手を尊敬する作法で、古代インドの礼法の一つです。

また古くから五体投地礼という礼法があります。これは直立合掌の姿勢から、徐に右足を半歩引き、次に左足を引いて右足に揃え、前にかがみながら合掌を解いて、右膝、左膝の順に地に着け、次に右肘、左肘、額の順に地に着け、両掌は指を平らにそろえて上に向け、耳のあたりまで挙げ、仏の両足をいただく心持ちで礼拝するもので、最上の礼拝として、今も仏教寺院ではよく用いられています。本宗の在家伝法では一日二回の礼拝行が日課の中に組み入れられていますが、そのときの礼拝は五体投地が基本となっています。



修行僧の礼拝

礼頭師と呼ばれる役配の僧が、抑揚ある節付けによって阿弥陀仏をはじめ、諸仏諸尊、歴代上人、七世の父母（先祖）、日本国中八百万神位牌伝法の諸尊等々、一尊一尊、一霊一霊の朗唱に従い、同行諸人が一斉に礼拝するというものです。伝法の礼拝行は仏前勤行（おつとめ）、水行、勧誡聴聞とともに、四大行法の一つになっています。私たちが普通、拝む対象とするのは神仏、先祖霊が一般的ですが、仏さまの教えは東西南北上下の六方すべて、拝むべきものばかりであると示されています。わが父母、わが師、わが友などすべての人びとは勿論のこと、敵対者までもに拝むことが説かれています。また、太陽、水、土、作物等、天地自然にも拝む輪を広げることが大切です。ここにこそ



伝法行者の礼拝

大いなる恵みの中に生かされている喜びが溢れているのです。合掌礼拝は仏教徒にとって最も大切な礼儀であり、日常生活の中に生かさなければなりません。特に合掌は簡易な作法でありながら人間の最も美しい姿であると言えらるでしょう。煩惱多き凡夫（迷いの人）も、ひとたび胸の前で静かに両手を合わせる姿になったとき、それは尊い菩薩のお姿であるといわれます。なぜなら世間広しといえども、合掌の姿で人と言い争いをしていない人を見たことがありません。他人の悪口を言っている人もない。不平不満を言っている人もない。欲にかまけている人もない。手を合わすこの簡単な動作が不思議と私たちの心を清めてくれる



伝法行者の礼拝

何よりの証拠です。中にはかたくなに手を合わさない人がいます。「心の中で手を合わしている」と弁明するのです。しかしこれでは心が清まらないのです。なぜなら私たちの心の中はどろどろとした泥がいっぱい溜まっているのです。一口でいえば煩惱の泥です。貪欲の泥、怒り腹立ちの泥、愚痴の泥、人をうらやむ泥、疑いの泥、高慢な泥など、まさに泥に詰まっています。「これが私の心です」と人さまに堂々といえる人はいないのです。そんな泥だらけの中で拝んでも心はきれいな人はいないのです。



お盆雑感

徳融寺老院 阿波谷 俊宏

お盆といえは釜蓋朔日。八月一日は地獄の釜の口あけといつて、あの世に行つた先祖のたましいがすべて此の世に帰ってくる。いわば祖霊(おしよらいさん)の里がえり、亡者の敷入りである。『融通念仏縁起絵巻』には閻魔の差しちがえによつて此の世へ戻された北白河の女房が、帰り道付きそいの獄卒に実家の在り処をたずねている。いったん冥土に赴けば方向が解らなくなるのだから。灯笼をとぼしたり、辻や門口で迎え火をたくのも祖霊が道に迷わぬよう。実家の在り処を知らせる思いやりの表れと解される。

盆が近づくと墓まいりをする。お経や鉦の音、ときどき打ちつけるゴングのひびきなど、平素閑散とした墓原はひきまきらない参詣者で大賑わい。東北地方では墓まいりに出かける前、わざと鰯や鮠を食べる。生臭をして行かないとほとけの仲間にひき込まれるためだそう。そういえば関西でも盆には刺鯖をそなえ、おさがりを頂く習慣があった。精霊棚へのお供物は一般に盆器の底にハス葉を敷き、野菜果物や素麺類をもちつけ麻幹の箸を幾組か添える。できれば同じ盛り付けをもう一皿つくり、ひとつは精霊棚、もう一皿はミズダナといつて台所の隅か裏口に置いて無縁仏のお供えとする。仏教民俗では無縁ぼとけを浮精霊(ふけじよ)といい、先祖まつりを丁重にすればするほど彼らは嫉妬して、先祖の供物を横取りする。そのためミズダナを設け浮精霊をなぐさめるのである。

お迎えは速足馬の胡瓜とし
送りはゆるゆる茄子の牛とす
(小笠原佐栄子)



精霊棚は古来家族が手分けして作るものとされている。が昨今は頼めば仏具店や葬儀社がやってきて手ぎわよく飾りつけてくれる。胡瓜茄子の牛馬はもとも関東地方の習わしであったが、商業ベースにのせられ関西でも飾られるようになった。

盆といえは盆踊り。遠来の祖霊をなぐさめ、久びさの出会いを楽しむため老若男女が広場に集まり、音頭取りの歌ごえや鉦太鼓に合わせて輪になって踊る。徳島の阿波踊りや広島県三原市のやっさ踊りのように、踊りながら道をねり歩く群行式の盆踊りもある。

盆踊りの輪のなかにいて
影ひかぬ死者もめぐりつつ
われに付きくる
(佐藤光子)



関西では江州音頭や河内音頭が一般に知られているが、盆踊りのルーツはすべて念仏踊りにたどりつく。沖繩のエイサーだつて江戸時代の念仏僧袋中上人が盆踊りとして伝えられたものといわれている。長野県や大分県佐伯市の盆踊りには「まもあみだアンぼ」のリフレインがあり、愛知県新城市の「ほうか」には南無阿弥陀仏と叫ぶ大きな幟が人目をひく。新ぼとけの位牌や遺影を背負つておどる盆踊りも珍しくない。

十五日(十六日)は送り盆。お迎え同様門口で送り火をたき、お精霊さんを線香の煙にのせてあの世へ送る。精霊棚の供物はとりまどめて決められた場所か墓地へ。川や海辺の町では精霊船をつくり詩情ゆたかに西のかなたへ流す。長野県木曾の山村では、川に流したおさがりを川下で子どもたちが待ち受け、バーベキューのお伴菜にするそうだ。京都奈良の大文字は夏の終わりをつげるなかば観光行事として催されているが、山中他界観にもとづく送り火であることに間違いない。

盂蘭盆は梵語ウランバナの音訳。逆さ吊りという意味だとか。先祖の中には前生の因縁によつてこのような責め苦に遭つている精霊も無きにもあらずと考へ、盆供養はその救済手段として、盆の前後、寺で勤められる施餓鬼会とタイアップして一般化したものである。ペルシャには「ウルバン」という魂まつりがあるそう。まさか盂蘭盆がその影響を受けたとは考えられなけれど、なんとなく両者の係わりが気になる。

大念佛寺万部法要 百万遍数珠繰り法要 総本山職員のみで営む

恒例の五月一日〜五日の万部法要、今年は新型コロナウイルスの感染予防のため規模を縮小して、練供養等の諸行事は中止として、総本山職員のみの出仕という形の法要となりました。

法要は午前十時からの前日と午後一時からの本行のみですが、前行は田中瑞修宗務総長、本行は吉村瞳英管長猥下と本年度紫金職濱田全真念仏寺住職が五日間に亘つて導師を勤められました。多く寄せていただいた塔婆の回向を軸に据え、



百万遍数珠繰り

「疫病退散国土安穩法令久住利益人天」「疫病病没者之諸精霊追善菩提」の特別祈願並びに回向文の導師読誦により法要を締め括りました。

万部法要

また、百万遍数珠繰りは、例年のように五月一六日に執り行いました。万部法要同様、吉村管長猥下の導師のもと、外陣では総本山職員による数珠繰りを行いました。いつもの大数珠ではなく、小さな別の数珠ですが、念佛百万遍の功德円満を願つての法要となりました。

両法要ともに、参詣者なしで総本山職員のみでの勤行でありましたが、異例の静寂の中で緊張感をもって勤められました。



高級泉州タオル×大念佛寺

本堂売店にて販売

コラボ商品誕生!

泉州産の大阪ご当地マフラータオルです。
肌触りが良くお寺廻りのお供にご利用ください。



納骨費用一部変更のお知らせ

令和二年七月一日より、一般納骨の費用が一部変更となります。本骨(のど仏)以上の大きさの骨壺(胴骨・墓じまいのお骨など)が費用変更の対象となりますので、詳しくは大念佛寺法務部納骨担当までお問い合わせ下さい。

総本山 大念佛寺 ☎〇六―六七九一―〇〇二六

話せば心も軽くなる

大阪仏教テレホン相談室六月より再開

仏事相談、信仰相談、その他あらゆる人生相談を十宗派の僧侶がお受けします。

月曜日～金曜日(八月休)

でんわ 〇六(六二四五)五一一〇 午後二時～五時迄

大念佛寺年中行事(八月～年末)について

「新型コロナウイルス」感染拡大の状況を鑑み諸行事に関して山内限りの法要、または中止とさせて頂いたたく可能性が有ります。つきましては、「大念佛寺ホームページ」にて随時公表いたしますので、お手数をおかけいたしますがご確認いただきますようお願い致します。ご不明な折は下記のお問い合わせまでご連絡ください。

ホームページリニューアルのお知らせ

今回のリニューアルに伴い、みなさまのお役に立てるような最新情報も積極的に発信し、充実したものに改善いたしました。



大念佛寺 で 検索 <http://www.dainenbutsuji.com/>

小 径

夏がやって来ました。プランターで育てる野菜や花は、毎年の楽しみです。これまでオクラやトマト、ナス、キュウリやゴーヤ、ハスやヒマワリなどを育ててきました。

今年初夏に「バジル」いう植物を育ててみました。バジルは、スパゲティなどに使う、良い香りが特徴の植物です。なお原産はインドだそうです。ナスやトマトと違って、バジルというのは私にとって調理したことがないものでした。

さて、育てたものの、調理の仕方がわかりません。ネットですぐ調べられる時代ですけど、まず自分で考えてみよう、と挑戦しました。知らない植物なので安全性や注意点は確認しましたが、調理については自分で工夫してみました。

すると、自己流であっても、素材が素晴らしいので、何に使っても美味しく感じられます。好き勝手に合わせたお料理だけでも、美味しい。その後には本など調べますと、色々な調理法が出てきました。簡単にできる工夫されたものもあります。そういったお料理は先人たちの長い歴史の産物ですから、本当に素晴らしい。自分が先人から、本堂に素晴らしい。自分がお話をしていこうな気持ちにもなれます。自分で考えること、先人の知恵から学ぶこと、どちらも楽しいものです。忙しい中で忘れてしまいがちですが、いま目の前の事を、少し時間をかけて味わってみるのも良いものだなと感じました。

暑い中、体調にはくれぐれもご自愛ください。

随学

年中行事ご案内

- 孟蘭盆・法界大施餓鬼
 - ◎八月十六日(日) ■午後七時
- 万灯会
 - ◎八月十六日(日) ■午後八時
- 大和御回在御出光
 - ◎九月三日(木)
- 融通念仏会
 - ◎九月十六日(水) ■午前十一時
- 百万遍会(大数珠繰り)
 - 午後一時
- 十夜会
 - ◎十一月十四日(土) ■午後二時
- 後小松天皇忌
 - ◎十二月一日(火) ■午前十一時
- 大和御回在御帰院
 - ◎十二月十九日(土)
- 除夜法要
 - ◎十二月三十一日(木) ■午後十二時
- 定例布教
 - ◎毎月二十六日 ■午後二時三十分
- ★写経のご案内
 - 毎月二十六日、午前九時三十分より午後三時まで、白雲閣にて写経(一巻千円)を行っております。
- ★瓦勸進のご案内
 - 一口二千円で本堂に於いて受け付けております。
- お問い合わせ
 - 大念佛寺法務部
 - ☎〇六―六七九一―〇〇二六
- 融通念仏宗 総本山 大念佛寺
- 暑中御伺
 - 管法 長主 吉村 暲英
 - 宗務総長 田中 瑞修
 - 教学部長 吉井 良久
 - 庶務部長 佐々木智祥
 - 財務部長 篠塚 章臣
- 「新型コロナウイルス感染症」の一刻も早い終息と皆様の暮らしが平穏へ向かうよう総本山より祈りを捧げます。
- 融通念仏宗 総本山 大念佛寺